

顕微授精についての説明書

秋田大学医学部産婦人科
生殖内分泌外来 2005年4月

顕微授精とは極細のガラス管に精子を吸い、精子を卵に注入し、受精させる操作のことをいいます。現在、広く行われている方法は精子を卵実質内に注入する卵細胞質内精子注入法（IntraCytoplasmic Sperm Injection：I C S I：イクシーと呼ぶ）です。

1. 顕微受精を行う場合

高度の乏精子症や極端な精子無力症

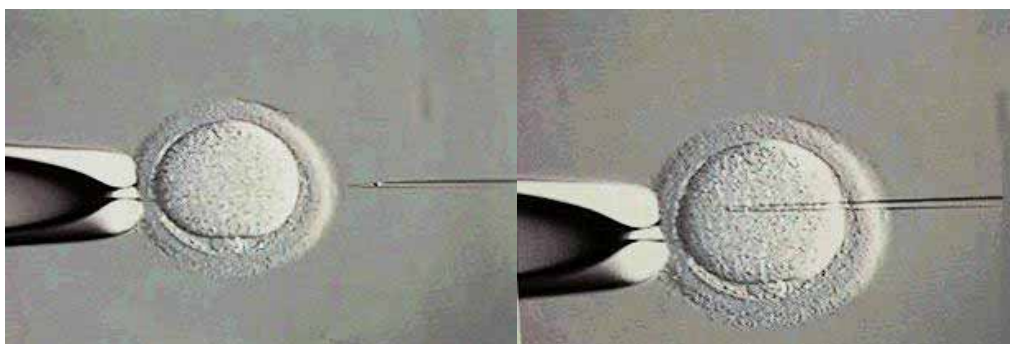
原因不明の受精障害で通常の体外受精を行っても受精しないもの

閉塞性無精子症

などです。高度な乏精子症でも通常の体外受精で受精が確認できる場合もありますが、逆に精子検査が正常範囲でも受精しない場合もあります。

2. 方法

下図参照



3. 問題点・危険性など

精子を注入することと受精が起こることは必ずしも一致せず、卵の発生が起こらないこともあります。

胎児の異常について通常の体外受精では約1%に胎児の異常がありますが、顕微授精では約3%に胎児異常があります。